

ひさまつクリニック・平和会訪問看護ステーション

〒 890-0052 鹿児島市上之園町 21-7 湖城ビル 1 F
クリニック TEL 298-1230 訪問看護 TEL 298-1238 FAX 099-298-1260



医療法人平和会



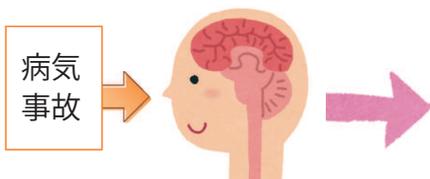
～うえんそんつうしん～
Wenson 通信

ST 特集号

Vol.13

■ ST（言語聴覚士）て何？

STとは・・・正式には“Speech-Language-Hearing Therapist”といいます。



失語症：聞く・話す・読む・書くことが出来ない

構音障害：呂律がまわらない。声がうまく出せない。

摂食・嚥下障害：ご飯をうまく食べることが出来ない。水分でむせる。

これらに対して、医師の指示のもと評価・訓練・助言などを行う職業です。

当院では

☆濱崎 恵 ☆下嶋 早苗

の2名体制で患者さんのご自宅や施設にお伺いし、リハビリを提供させていただいております！！

■ 具体的にはどんなことをするの？

<失語症>

ご利用者様の住み慣れた環境の中で、病院を退院後も入院中と同じようなリハビリを提供する事が出来ます。意思を伝えられない・伝わらない事は大変ストレスとなります。患者さんご家族、周囲のスタッフの方とのコミュニケーションの懸け橋になるよう評価、訓練、助言を行っていきます。



～訓練の様子（O様の場合）～

<構音障害、摂食・嚥下障害>

加齢や病気により、徐々に呂律が回らなくなったり、声を出しにくくなったり、飲み込む機能が低下する恐れがあります。特に摂食・嚥下障害に関しては、誤った食事形態のまま食事を摂り続けていると誤嚥性肺炎を起こしかねません。誤嚥性肺炎の予防や、なるべく口から食べることを楽しんで頂く為に評価を行い、安全な食事形態のご提案や食事介助方法の指導、機能訓練を行っていきます。



他にも、高次脳機能障害（失行・失認、注意障害、記憶障害、遂行機能障害 等）の方へのリハビリも可能です。

～STからのメッセージ～

入院期間を経て在宅へ戻られる時、「今の状態で普通に生活できるのだろうか？」「やっと少し喋れるようになったのに、リハビリが受けられなくなってしまうのは不安…」など、様々な心配があると思います。「話せなくても大丈夫、身体さえ動けば！」とおっしゃるご家族もいらっしゃいます。しかし、言いたいことが通じなくてストレスを溜めていくと、患者さんは孤独感を深め、生きる張りがなくなってしまいます。また、取り巻くご家族の方々も、何が言いたいのか汲み取ってあげられず苛立ち、その後自己嫌悪に陥ってしまうこともあるでしょう。私たちは訪問リハビリを提供することによって、そのような患者さんはもちろんご家族の方の心情を慮り、寄り添っていけるSTを目指し、日々援助していきたいと考えています。

STブログ『福朗はなこが行く！～鹿児島訪問リハビリ奮闘記～』を始めました♪詳しくは当院ホームページアクセス！⇒ <http://www.hisamatsuclinic.com/>